



# 志布志市立 尾野見小学校

児童数 66人  
学級数 8クラス



## 《テーマ》

自分も友達も大切にし、よりよい人間関係を育む尾野見っ子の育成

### 研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校の児童は、素直で明るく、友達と仲良く元気に学校生活を送っている。しかし、日常生活の中で、自分の思いを伝えていなかったり、相手の気持ちを考えていないような言葉掛けをしたりすることがあった。そこで、認め合い・助け合い・共に伸びていく活動を行うことで、更によりよい関係づくりができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

### 研究スケジュール

8月2日(月) 職員研修「性の多様性」  
10月18日(月) 職員研修「自己肯定感」  
11月29日(月)～12月3日(金) 校内人権週間  
12月2日(木) 人権集会  
12月3日(金) 道徳授業  
12月14日(火) 人権教室「伝えよう・知ろう」  
1月14日(金) 家庭教育学級「自己肯定感」  
2月7日(月) 職員研修「研究のまとめ」

### 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

#### □ 縦割り班活動

異学年での縦割り班を編成し、掃除や児童会活動、大運動会等、様々な場面で縦割り班での活動を進めた。思いやりの気持ちをもつことや協力することのよさを実践できるようにした。



【縦割り班活動】

#### □ 人権標語の作成

全児童が人権標語をつくり、校内に掲示したり、放送委員会の児童が放送で紹介したりした。

#### □ ぽかぽかの木

友達が頑張っていることや感謝の気持ちをカードに書いて、「ぽかぽかの木」として掲示した。友達のよさを見つかったり認めたりするきっかけづくりになった。



【ぽかぽかの木】

#### □ 人権について共通する学習内容・題材での取組

児童・保護者・職員が、人権について共通する内容・題材で学ぶことで、みんながお互いに見つめる・向き合うことについて深く考えることができた。

### 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 推進校としての取組は、児童や職員だけでなく保護者とともに人権について学ぶよい機会となった。これをきっかけに、学校と保護者が一体となった人権教育を進めていけるように工夫したい。
- 全校児童で、人権標語の作成や「ぽかぽかの木」作りに取り組むことで、友達への共感的な態度や雰囲気が見られる場面が増えてきた。子どもたちの人権感覚を育て実践力の向上につなげられるような活動を、意図的・継続的に実践していきたい。